

## 海外安全対策情報（令和3年4月～6月）

### 1 社会・治安情勢

ベラルーシの情勢は、おおむね落ち着いていますが、昨年8月に実施された大統領選挙以降、数か月にわたって各地で抗議活動が行われました。抗議活動参加者と治安部隊の衝突により、多数の集会参加者等が拘束され、死傷者も発生しました。現在も散発的にインターネット等で抗議活動が呼びかけられており、治安当局の取締りが行われています。ベラルーシに滞在中の方は、常に報道等により最新情報の入手に努めるとともに、抗議活動が行われている場所や群衆が集まる場所には近づかない、外出時は旅券等身分証明書を所持するなど、十分注意してください。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2021年1月1日から6月30日までのベラルーシにおける犯罪総数は44,148件で、前年同期と比較し12.9%増加しています。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア 窃盗11,596件（前年比14.5%減）

（うち住宅対象侵入窃盗）3,657件（同8.9%減）

イ 公然窃盗632件（同6.1%減）

ウ 恐喝174件（同7.9%減）

エ 詐欺2,241件（同14.5%増）

オ 暴力犯罪1,906件（同5.5%増）

カ 殺人及び殺人未遂144件（同5.3%減）

キ 重傷傷害361件（同10.9%減）

ク 強盗38件（同15.6%減）

ケ 強姦及び強姦未遂39件（同8.3%増）

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2021年4月～6月における主な被害事案は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア 4月9日、ブレスト市において、男が店の商品を散らかし、別の客をナイフで切りつける事件が発生した。店の警備員が男を取り押さえ、警察に引き渡した。ナイフで切りつけられた客はコートのおかげで無傷だった。

イ 4月13日深夜3時頃、ミンスク市キジェヴァトフ通りにおいて、バス停を破壊してい

る男が発見され、パトロール中のオクチャブリスキー地区警備局職員によって逮捕される事件が発生した。男は、前日の交際女性との口論が原因で、破壊行動を起こしたことが明らかになった。

ウ 5月11日、ゴメリ市において、レチツキー大通り沿いを走行していた乗り合いタクシーが、赤信号で交差点の前に停止していたトロリーに衝突する事故が発生した。交通警察によると、タクシー運転手から0.22%のアルコールが検知されたとのこと。なお、この事故による負傷者はいない。

エ 6月25日深夜、ブレスト州コ布林地区において、2人の乗客を乗せていたタクシーの女性運転手が、1人の乗客の男からナイフを首に突きつけられ、脅迫される事件が発生した。タクシー運転手は反撃し、ナイフを破壊した後、警察へ連絡した。捜査官によって夜通し犯人の捜索が行われ、翌日、ベリョーザ市の知人アパートにてロシア籍26歳男たちが逮捕された。犯人たちは襲撃の後、外国車を盗み、隣のベリョーザ地区へ逃げていることが明らかになった。

### 3 テロ・爆弾事件の発生状況

なし。

### 4 誘拐・脅迫事件の発生状況

なし。

### 5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述の事案は全体の中の一部の情報です。定期的に報道などを確認し、自身の安全確保に努めてください。